



# 臨床研修医募集のご案内



～大切な2年間を充実させるために～

市立横手病院

<http://www.yokote-mhp.jp/>

# 医師としての第一歩を踏み出す皆さんへ



院長 丹羽 誠

臨床医としての歩みは、「腕を上げ続ける歩み」でなければなりません。腕を上げ続けるためには「患者さんから学び続ける」ことです。診断が正しかったか、妥当であったか。治療が正しかったか、妥当であったか。患者さんから学び続け、必要があれば修正をすることで、腕を上げ続けることができます。

臨床医の仕事は、全うに診断し、全うに治療をすること、そして「患者を安心させる」ことです。患者を安心させるとは、どういうことでしょうか。説明は最も大切ですが、「気安め」の説明はできません。決して虚偽の説明はしないと心に決め、患者の心の状態・希望に沿うための準備、五感を研ぎ澄ましている必要があります。

医師には大きな責任がありますが、決して一人で抱え込まないことです。先輩医師や同僚の看護師、薬剤師、リハビリスタッフ、栄養士、メディカルソーシャルワーカーなど、多くの心強い仲間とチームを組むことで、さらに良い仕事ができます。そして進歩できます。

私共の市立横手病院は明治22年に設立されました。現在までの130年近くの歴史は、先輩たちの努力と進歩、そして住民から必要とされ支持されてきた歴史です。

地域住民から信頼される病院であるために、安心できる良質な医療を提供し、心触れあう人間味豊かな対応をすることを、病院の基本理念としています。

この市立横手病院で「腕を上げ続ける歩み」を始めようとしてみませんか。

## 認定施設



日本医療機能評価  
機構認定基準



人間ドック健診施設  
機能評価認定施設

## プライマリ・ケアを学ぶ！

## 急性期医療を実践する！

## 多くの手技を経験する！

# 市立横手病院の研修環境

市立横手病院は、明治22年に開設された秋田県で最も歴史のある病院です。平成23年に増改築工事が完了し、外来、病棟、検査室などが新しくなりました。病棟は病室の4床化をはじめ、個室やドック宿泊室が整備されております。診療機能面では、消化器センター、外来化学療法室、病理検査室、高機能MRIを整備し、機能強化をしております。また、平成26年には、入院患者さんの状態が安定した後も入院療養を継続し、安心して在宅復帰できる準備を整えられるよう「地域包括ケア病棟」を設け、地域の皆様に良質な医療を提供できる体制づくりに努めています。

当院は、研修医において経験・習得できる手技が圧倒的に多く、特に消化器内科では集中して症例を経験することができます。2年目の研修終了時点では、ルーチンの上部・下部内視鏡検査、超音波検査を問題なく行えるようになり、胃粘膜下層剥離術(ESD)も数例経験できます。また、近年は糖尿病内分泌内科や循環器内科も充実してきており、後期研修医やすきがけで選択する病院としても定評があります。



県内トップレベルの消化器センター

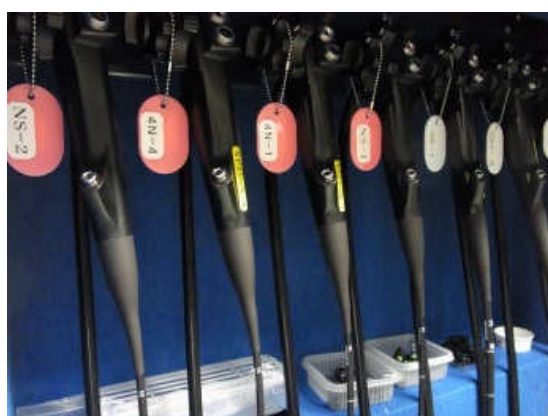
## 救急告示病院・DPC対象病院

救急医療に関する技量を有する医師が常時従事し、救急医療を行うための施設・設備を有する救急告示病院として地域の中核的医療機関としての役割を担っています。

また、当院は平成21年度より傷病名や診療内容に応じて厚生労働省が定めた1日当たりの定額の医療費を基本として計算する「包括方式」のDPC対象病院に認定されました。いち早く完全電子カルテ化を進めるなど時代の変化に速やかに対応し、健全で安定的な病院運営を心掛けています。

## 消化器センター

消化器疾患全般に対応できる消化器センターを平成22年に設置しました。患者さんにとって最適の治療法をめざし、質の高い医療の提供を常に目指しています。特に食道・胃・大腸の早期がんに対する粘膜下層剥離術は年々増加しており、他地域から紹介される症例が増えています。肝胆膵の分野では、腹部超音波診断のレベルが高く、肝炎から肝硬変、肝がんに至るまで、放射線科医と協力して自院で完結した治療を行っています。また、外科との連携で腹部の救急に力を入れており、より速く正確な診断と患者さんにとって十分かつ最も負担の少ない治療を目指しています。



最新機種の内視鏡



## 診療科目

内科、消化器内科、心療内科、呼吸器内科、循環器内科、糖尿病内分泌内科、頭痛・脳神経内科、神経内科、血液腎臓内科、外科、整形外科、小児科、産婦人科、眼科、泌尿器科、リハビリテーション科、放射線科

病床数 ..... 229床

(一般病床 225床 感染症病床4床)

救急外来患者数 ..... 27人/日

外来患者数 ..... 635人/日

救急車搬送件数 ..... 1,109件/年

入院患者数 ..... 66,487人/年

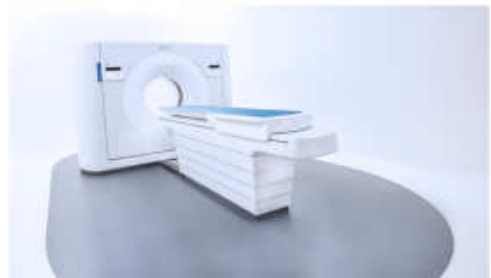
手術件数 ..... 2,074件/年

分娩件数 ..... 237件/年

## 手術室



## 東北初の最新CT導入(H29.9月)



## 指導医・専門医

経験豊富で多彩な指導医・専門医が、研修医の皆さんの成長をサポートします。

### 基本領域の認定施設



日本内科学会  
教育関連認定施設



日本外科学会  
専門医制度関連施設



日本整形外科学会  
研修施設



日本泌尿器科学会  
専門医教育施設

### その他の認定施設

【subspecialtyの学会】  
・日本消化器病学会  
・日本消化器外科学会  
・日本脊椎脊髄病学会

【その他】  
・日本消化器内視鏡学会  
・日本超音波医学会  
・日本人間ドック学会  
・日本がん治療認定医機構  
・日本内視鏡外科学会  
・日本静脈経腸栄養学会

### 指導医・専門医 在籍数

指:指導医 専:専門医

学会名	指	専	学会名	指	専	学会名	指	専	学会名	指	専
日本内科学会(総合内科専門医)				1		日本整形外科学会		3	日本脳卒中学会		1
日本消化器病学会	1	6	日本外科学会	1	4	日本脊椎脊髄病学会	1		日本頭痛学会	1	
日本消化器内視鏡学会	2	1	日本消化器外科学会	1	1	日本リハビリテーション医学会		1	日本脳神経外科学会		1
日本肝臓学会		1	日本大腸肛門病学会		1	日本産科婦人科学会		2	日本糖尿病学会		2
日本循環器学会		1	日本小児科学会		1	日本泌尿器科学会		1	日本内分泌学会		1
日本核医学会		1	日本放射線腫瘍学会・日本医学放射線学会			放射線治療専門医					1

# 大切な2年間で充実させるために



臨床研修 プログラム責任者  
外科統括科長 伊勢 憲人

当院は一般225床、感染症4床を持つ秋田県南部に位置する急性期病院です。その歴史は古く、自治体病院として100年以上の歴史があります。病院の規模はそれほど大きくはありませんが、横手市以外の周辺地域からの患者さんも多く、地域に根差し、なくてはならない病院となっています。初期研修医も数多くの症例を経験できるので、2年間で医師としての基本的な臨床能力を身につけることができます。また指導医の理解もあり、研修医のうちから経験、習得できる手技が多く、プライマリーケアを学び、基本手技を習得するには最適な環境です。

当院の研修プログラムは選択期間をできるだけ長くとり、プログラムの自由度を重視しています。さらに当院で研修ができない診療科に関しては、協力型臨床研修病院や臨床研修協力施設での研修が可能です。これまでの初期臨床研修医は、皆十分に成長し臨床研修を修了、その後当院や他院の後期研修へ進んでいます。

秋田県横手市は人口約9万人程(平成29年)で、自然がとて豊かな城下町です。漬物等の発酵食品、日本酒・ワイン・地ビール生産、ぶどう、りんご、さくらんぼ等の果樹栽培も盛んなところです。病院の前を横手川が流れ、後ろには横手城をみることができます。晴れた日には秋田山形県界にある鳥海山(通称出羽富士:標高2236m)がとてきれいに見えます。このように自然環境には大変恵まれています。病院内の環境も良好で、医師だけでなく、メディカルスタッフ、事務職員を含め病院全体で研修医を支える体制が整っています。当院では安心して初期臨床研修が受けられます。医学生のみなさん、このような最適な環境の元で一緒に働きましょう。

## 一般目標

医師としての人格を養い、将来どのような分野に進むにせよ、医学、医療の社会的ニーズを認識しつつ、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、幅広い基本的な臨床能力(態度、技能、知識)を身につける。

## 行動目標

すべての科の医師にとってコアとなる臨床能力(clinical competence)を養い育てることを目標とする。

## 経験すべき 症状・病態

研修の最大の目的は、患者の呈する症状と身体所見、簡単な検査所見に基づいた鑑別診断、初期治療を的確に行う能力を獲得することにある。個別の疾患の治療については、専門的な研修の中で補完する。

## 研修プログラムの特徴

当院では内科・救急部門・地域医療・産婦人科・精神科・小児科を必修科目として設定し、1年次で内科6ヵ月、救急部門1ヵ月、産婦人科1ヵ月、精神科1ヵ月、小児科2ヵ月の計11ヵ月と内科・救急部門・選択科目（外科・整形外科・泌尿器科・放射線科・地域保健）から1科目を選択し1ヵ月研修します。

2年次で地域医療を1ヵ月、残り11ヵ月は当院における必修科目を再度重点的に研修したい場合や、協力型臨床研修病院や臨床研修協力施設において他の科目（麻酔科・呼吸器内科・地域保健）を研修したい場合に対応が可能です。

## プログラム例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急	産婦人科	精神科	小児科		選択科
2年次	地域医療	選択科										

※救急部門については、診療時間帯および日当直（2年間で40日以上）を含め3か月の研修とします。

※臨床研修協力施設（横手保健所・赤十字血液センター・市立大森病院）における研修期間は2年間で合計3ヵ月以内です。

### 1年目で経験できること

- 採血・動脈血ガス分析
- 腹部エコー、心エコーの実践
- 中心静脈カテーテル挿入
- 学会・研究会での演題発表
- 挿管、心マッサージ等の救急対応（ACLS）

Etc..



外科研修



放射線科研修

### 2年目で経験できること

- 内視鏡、その他消化器系検査の実践
- 消化器外科手術での執刀
- 心臓カテーテル、循環器系検査の実践
- 緩和ケア、全人的評価と対応の実践
- 小児科救急対応、血管確保、予防接種
- 産婦人科救急、出産の対応

Etc..



小児科研修



## 研修医セミナー

年間を通じて毎月第1・第3火曜日に研修医を対象とした症例検討会を、毎週金曜日には研修医勉強会を開催し、経験豊富な各科の指導医が現場で役立つ実践的な知識・技術を伝授しています。



研修医症例検討会

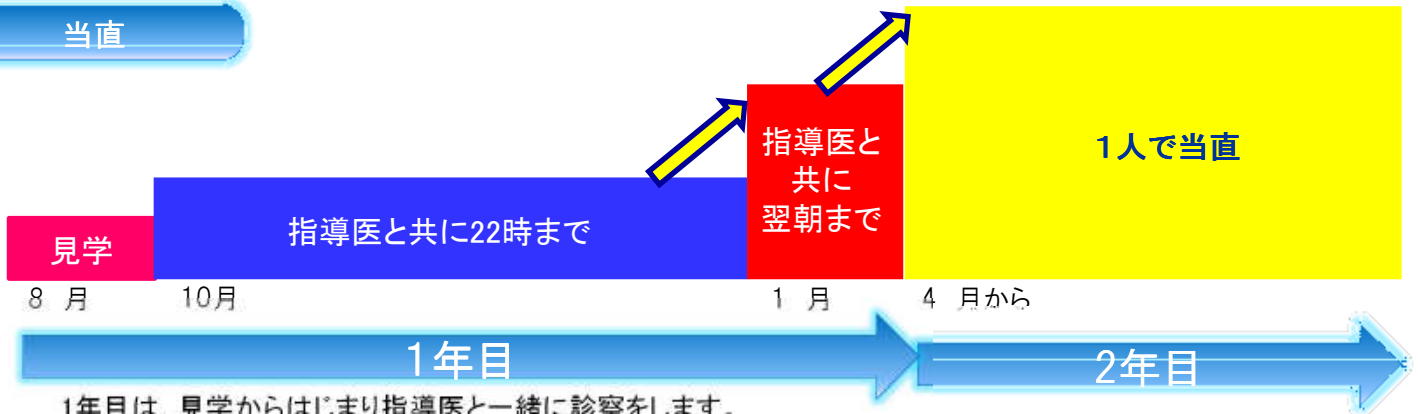


研修医勉強会

外科カンファレンス	毎週月曜
研修医症例検討会	第1・3火曜
医局勉強会	第2・4火曜
消化器勉強会	第2・4水曜
内科・外科・放射線科カンファレンス	毎週木曜
研修医勉強会	毎週金曜
救急カンファレンス	随時
消化器内科カンファレンス	第1・3・5水曜
臨床病理カンファレンス	随時(月1回程度)

主なカンファレンス

## 当直



1年目は、見学からはじまり指導医と一緒に診察をします。

2年目から1人で当直をしますが、オンコール体制を整えていますので、安心して指導医へ相談がすることができ、研修医をバックアップしています。

## 環境



研修医室

研修医全員の机に電子カルテの端末があり、医局にしながら検査Dataや画像をチェックし、カルテ記載ができます。



図書室

職員が自由に閲覧できる図書室があり、医学書・雑誌を多数そろえています。また、インターネット用PCにて、「オンラインジャーナル」・「医中誌Web」を利用でき、閲覧できる文献が豊富です。



腹腔鏡シミュレーター

研修医室に腹腔鏡手術手技のトレーニングができるシミュレーターがあり、先輩医師から学ぶことができます。



## 初期研修医1年目の一週間の日記

### ●月曜日

救急搬送患者が来るまで読影室で待機し過去の教育症例で読影練習をする。疑問点は放射線科の先生が丁寧に教えてくれる。救急搬送患者が来るとPHSIに連絡が入り指導医の先生とともに対応に当たる。

### ●火曜日

研修医症例検討会の発表。実際に経験した救急で見逃してはならない疾患や、稀な疾患などを他の先生方に発表。疾患の勉強にもなるしプレゼンの勉強にもなる。発表することで知識を全員で共有することができる。



### ●水曜日

手術室で気管内挿管とルート確保の練習。練習を終えて着替えていたところ、PHSIにCPA患者が来るとの連絡。かけつけると呼吸が止まっており挿管することに。さっそく挿管練習の経験を活かすことができた。



### ●木曜日

今日は中心静脈路確保を行った。手技は緊張もするけど上級医の先生の指導の下、行うことができるので安心してできる。これからも回数を重ねて上達していきたい。

### ●金曜日

8時から研修医勉強会が始まる。毎週金曜日に開かれ、どの科に進むことになっても必要な知識を各科の先生が教えてくれる。教科書を読むのとは異なり、実際の臨床の場で専門の先生が重視していることがわかる。

業務終了後に救急外来の見学。横手病院はcommon diseaseの症例が多いのでどの科に進んでも出会う疾患の対応を学ぶことができる。診察後には指導医からの診察に関してのフィードバックがあるので疑問点を解決できる。



## 研修医からのメッセージ



大野 健太  
(平成29年度研修医2年次)

初期研修の場としての病院に求めるものは人によって様々だと思います。私は研修1年目を通して、当直をこなせるようになることが初期研修で最も重要なことの1つであると感じたので、そのことに関して当院の紹介をしていきます。

当院では2年目からの1人当直に備えて、早くから実践の場での経験を積んでいきます。救急担当や副直では、実際にファーストタッチを任せられますが、この「自分自身で対応する」ということが何よりも重要な経験となります。私が初めて診た風邪の患者1人とっても、「必要なことを問診し」「検査の有無や方針を考え」「それを説明して」「カルテに記載する」ということを一度に進行するのは想像以上に難しいことでした。ですが上級医に見守られながら無心で数をこなす内に、自然とやり方が身に付いたように思います。

2年目の当直では上級医にコンサルトするまでは全てを自分で判断しなければなりません。「検査に行くのか」「薬はどれを出すのか」「帰していいのか」「コンサルトすべきか」判断に悩むシーンは数多くありますが、1人という環境だからこそ、その判断力が養われると感じています。そしてこれらは、いざコンサルトすれば先生方が迅速に対応してくださるという安心感の上で成り立っています。

私はまだ2年目の途中ですが、当院でのこういった経験は今後必ず役立つものと思っています。興味のある方は是非一度見学にいらしてください。



工藤 瑞樹  
(平成29年度研修医2年次)

市立横手病院での研修が1年を過ぎましたが、とてもあっという間な1年だったように思います。市立横手病院は規模としてはそれほど大きくはない病院ですが、それゆえに医師間・診療科間の距離感がとても近くどんな事でも気軽に相談できる、研修医にとって非常に研修しやすい環境です。地域の医療を担っている病院であることから急性期の患者さんが数多く受診されるため、病棟管理や当直研修を通して研修医として学ぶべきプライマリーケアや基本手技を十分に経験することができるのではないかと思います。私が1年間研修して感じた横手病院の魅力の一つが、2年間の研修プログラム内で極めて自由に選択科を選ぶことができる点です。研修医の定員が1年次あたり4人と比較的少ないこともあり選択科はほぼ希望通りに選べ、やる気さえあれば非常に多くの症例や手技を経験することができます。興味がある方は是非一度、見学にいらしてみてください。

## 指導医と後期研修医からのメッセージ

消化器内科では消化器系全般のトレーニングができます。基本的に研修医主体に行動してもらいますが、バックアップはしっかりしますので不安がなく、技術の習得も速いです。特に上部・下部消化管の内視鏡的粘膜下層剥離術など内視鏡的治療が多く、近隣施設から紹介される静脈瘤を含めた消化管出血、胆道感染など消化器疾患の救急にも十分対応できるようになります。将来市中病院で地域医療に貢献したいと考える方に最適な環境です。

### ★田口先生へ★

いろいろな疾患への初期対応がきちんとでき安心してみていただけます。後期研修を開始して半年ですが、胃の粘膜下層剥離術もTRYしてもらっています。

最近感じたことは、いろいろな手技の手際がものすごく良く冷静だということで、消化器内科に必要な資質を十分持っています。楽しそうに仕事をしているのもよいことです。持続して成長する能力を持っていると思いますので、伸ばせるようにしたいと思います。がんばってください。

日本消化器内視鏡学会  
指導医



副院長 船岡 正人

### 後期研修医



消化器内科医員 田口 由里

私は秋田大学医学部附属病院にて1年間研修した後、たすきがけ制度を利用し2年目の9月より市立横手病院にて研修をさせていただきました。志望科であった消化器内科を中心に研修し、研修生活2年間の集大成を飾ることができました。消化器内科の研修では、上部下部消化管内視鏡、腹部超音波検査など消化器内科として必要な技術を習得することができます。指導医の先生方よりご指導いただきながら、実際の患者さんへの診療を通して学ぶことができ、3年目からの後期研修医生活も大変充実したものとなっています。

### ★船岡先生へ★

私は2年目の後半まで将来の志望科を決められずにいましたが、横手病院での研修を通して消化器内科を専攻することに決めました。市立横手病院では7人の消化器内科医が常勤しており、消化器センターにて毎日内視鏡検査、超音波検査を行っております。研修生活を通し、市立横手病院の先生方の医療に対する姿勢や、消化器疾患への専門的な治療を見て自分もそうなりたいと憧れる気持ちが強くなり、消化器内科を専攻する決め手となりました。私も1日も早く先生方のようになれるよう毎日を過ごしております。

## 処遇

身分	常勤職員
基本手当	1年次 500,000円(月額) 2年次 510,000円(月額)
賞与	1年次 1,050,000円(年額) 2年次 1,080,000円(年額)
当直手当	30,000円/回 ※当直は2年次のみです。
勤務時間	8:30~17:15 ※時間外勤務あり
社会保険	健康保険・厚生年金保険・雇用保険・労災保険
医師賠償責任保険	当院にて病院賠償保険加入あり、個人加入は任意
休暇	有給休暇 1年次 15日 2年次 20日
	夏季休暇 3日
	特別休暇 冠婚葬祭や病気休暇など

## 病院見学

個別病院見学を随時受け付けておりますので、市立横手病院のホームページをご確認の上、お申込みください。

内容 希望の診療科を見学していただけます。



病院見学QRコード

## 募集要項

応募資格	平成31年医師国家試験受験予定者
選考方法	面接
選考日	7月から
募集人員	4名
応募方法	市立横手病院ホームページをご覧ください。

## アクセス



JR横手駅からバスで10分、タクシーで5分、秋田自動車道横手ICから15分

- 横手駅から当院まで  
バス 15分  
横手駅東口の「横手バスターミナル」乗車、  
「横手郵便局前」下車  
タクシー 5分



- 横手ICから当院まで  
車 約10分
- 秋田空港から当院まで  
車 約1時間(秋田自動車道経由)





〒013-8602  
秋田県横手市根岸町5番31号  
市立横手病院 総務課 企画係  
TEL:0182-32-5001  
FAX:0182-36-1782  
URL:<http://www.yokote-mhp.jp/>